

光に関する国際会議（OPIC）と連動した展示会で、世界の研究・開発技術者が一堂に会します！

OPTICS & PHOTONICS International Exhibition



OPIE '24

理科学用途から産業用途まで／レーザー技術総合展示会

レーザーEXPO

特設 パワーレーザーフォーラムゾーン
レーザー照明・ディスプレイ／光無線給電ゾーン

レンズ設計・製造最新技術を一堂に会した専門展示会

レンズ設計・製造展

精密位置決め、測位、ドローン、LiDARの応用を拡げる

ポジショニングEXPO

宇宙・天文分野の最先端工学技術が集結

宇宙・天文光学EXPO

AI、IoT時代の使えるセンサと産業用カメラ

光と画像のセンサ& イメージングEXPO

紫外域から可視光・赤外域まで

光源・光学素子EXPO

大容量・高速・低消費電力通信を支えるデバイス、システムが集結

光通信・要素技術& 応用EXPO

2024 4.24^水 - 26^金 10:00~17:00

パシフィコ横浜 展示ホール／アネックスホール

出展社
募集中

早割特典

2023年9月30日(土)までの

お申込で出展料 **5% OFF!**

お申込はWEBサイトをご利用下さい。

オプトロニクス OPIE

検索

<https://www.opie.jp/>

後援 (予定) (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)／日本貿易振興機構(ジェトロ)
在日ドイツ商工会議所

インターナショナルパートナー (予定)

SPIE.

PHOTONICS MEDIA

同時開催

OPTICS & PHOTONICS International Congress

OPIC 2024

2024年4月22日(月)~26日(金) パシフィコ横浜 会議センター

統括主催：OPI協議会 <https://opicon.jp/>

事務局



株式会社 **オプトロニクス社**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-5 サンケンビル

TEL 03-3269-3550 E-mail: event@optronics.co.jp

<https://www.optronics.co.jp/>

OPIEは7つのカテゴリーの展示会で構成されています。

■レーザーEXPO

理科学用途から産業用途まで／レーザー技術総合展示会

情報通信、材料加工、計測など広範にわたる応用においてレーザー技術が活用され、市場も拡大を続けています。本展は研究・開発、生産に至る、国内外のレーザー製品が一堂に会するレーザー技術総合展です。

レーザー技術は、常に新たなイノベーションを生み出しており、本展示会には毎年多くの来場者が訪れています。レーザーが持つポテンシャルを十分にアピールすることで、レーザー事業のさらなる強化を図っていただくことが可能です。

■レンズ設計・製造展

レンズ設計・製造最新技術を一堂に会した専門展示会

レンズをはじめとして、プリズム、回折格子などの各種光学素子から光学設計や試作、製造装置など、光学素子に関するあらゆる製品、サービスが集う展示会です。

次世代産業として話題のbeyond 5G、自動運転、光量子コンピュータ、メタバースなどは全て光学製品と深い関わりがあります。光学素子はそうした光学製品を構成する要素部品であり、その要求精度は年々高まっています。本展ではこのような技術的課題の解決を目指す来場者のニーズを的確に把握し、ビジネスへとつなげることが可能です。

■ポジショニングEXPO

精密位置決め、測位、ドローン、LiDARの応用を拓ける

各種FAライン上での位置決めをはじめ、光学機器や電子部品製造過程、バイオ研究における位置決め装置などはもとより、物流センターやスマート農業現場での測位・制御機器、各種乗り物の安全運転のための測位検知装置等が一堂に会する展示会で、ナノ・マイクロスケールオーダーの精度が求められる測定関連製品や位置決めシステムなどに注目が集まっています。

来場者の機器開発や導入に先立ち、実際に様々な製品の比較検討ができる場として有効です。

■宇宙・天文光学EXPO

宇宙・天文分野の最先端工学技術が集結

宇宙・天文光学分野で活躍する技術者・研究者向けに研究開発ツールや優れた部品・機器を提供する場として有用な展示会です。国立天文台や宇宙航空研究開発機構（JAXA）から後援を受けているほか、両者による講演や関連ブースも出展するので、多くの関係者が来場します。

日本の宇宙関連予算は2022年に初めて5,000億円を超えたほか、安全保障面からも今後が注目されています。宇宙関連ビジネスにおいて、本展示会は製品を効率的にPRできる場として大いに期待されます。

■光と画像のセンサ&イメージングEXPO

AI、IoT時代の使えるセンサと産業用カメラ

光と画像のセンサと産業用カメラ及び先進的イメージングを網羅する展示会です。

IoTやAI、今後本格的な普及が期待される「デジタルツイン」など、ネットワーク技術やデジタル技術との融合であらゆる分野でセンサの導入が進み、その市場は急拡大しています。

いっぽう産業用をはじめとするカメラ市場では技術の進展により分光イメージングも登場し、今や産業用途として開発競争は激化の様相を呈しています。両者を合わせた展示会は極めてシナジー効果が高く、今後のビジネス展開に有効な機会であると言えます。

■光源・光学素子EXPO

紫外域から可視光・赤外域まで

紫外域から赤外・可視波長域のフォトンクス製品が一堂に会する展示会で、加工応用や分析・計測応用などに対応する製品の出展が期待されています。またポストLEDや有機ELなどの新光源、テラヘルツ波関連製品も対象にしてビジネスマッチングを強力に後押しします。

赤外線応用製品では赤外域の材料から光源・光学部品、センシング・モニタリング向けデバイス・システムなどを対象としており、教育・研究機関や赤外線応用を求める産業分野にアピールすることが可能です。また、紫外線応用製品も多くの関心が寄せられている分野で、深紫外光源をはじめ、結晶・素材や各種計測製品が求められています。

■光通信・要素技術&応用EXPO

大容量・高速・低消費電力通信を支えるデバイス、システムが集結

光通信を取り巻く市況は大きく変貌し、Beyond 5Gへの対応により、そのアプリケーションは衛星通信に関わる宇宙インフラ、自動車を含むモビリティ産業、物流・製造、医療、エンターテインメントなど、様々な産業分野に波及していくことが考えられています。また、DXやメタバースといったキーワードも登場し、仮想世界とのアクセスにおいて通信技術はますます重要となり、市場は大きく拡大することが予測されています。これらの分野における大容量・高速・低消費電力通信を実現するのにも「光」の役割です。

「光通信・要素技術&応用EXPO」では、それらを支えるデバイス、システムが一堂に集まる展示会を目指し、光電子融合技術や革新的光ネットワーク技術・製品開発の持続的な研究・開発を後押しするため開催いたします。

様々な分野の要素技術として不可欠な「光技術」。
光技術によるソリューションを求めて、
幅広い産業からキーマンが多数来場されます。

OPIE 開催概要

開催概要

名称	OPIE '24(OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2024)
会期	2024年4月24日(水)~26日(金)
会場	パシフィコ横浜 展示ホール、アネックスホール
主催	(一社)レーザー学会 NPO法人 日本フォトリクス協議会 他
後援(予定)	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) / (独)日本貿易振興機構 / 在日ドイツ商工会議所 <光通信・要素技術&応用EXPO 後援>超高速フォトリックネットワーク開発推進協議会
インターナショナルパートナー(予定)	SPIE / PHOTONICS MEDIA
OPIE協賛(予定)	(公社)応用物理学会 / (公社)精密工学会 / (公社)日本分光学会 / (一社)日本光学会 (一社)日本ロボット学会 / (一社)映像情報メディア学会 / (一社)電子情報通信学会 (一社)日本光学硝子工業会 / (一社)日本オプトメカトロニクス協会 / (一財)光産業技術振興協会 レーザー輸入振興協会 / (公財)レーザー技術総合研究所 / NPO法人 光ファイバセンシング振興協会 日本光学測定機工業会 / 日本精密測定機器工業会 / 光学薄膜研究会 / (一社)光融合技術協会 微小光学研究会(応用物理学会) / 大阪大学レーザー科学研究所 / (公社)日本技術士会 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所 / OPTICA(旧OSA) / PIDA <光源・光学素子EXPO 協賛>(公社)応用物理学会 フォトリクス分科会
来場対象者	関連分野における大学・研究機関、企業の開発技術者、研究開発者および展示会併設特別セミナー参加者、国際会議 OPIE2024参加者 他
来場者数	15,000名(予定)
入場料	無料(完全事前登録制)

募集要項

募集小間数	500小間
出展対象製品	WEBサイトにてご確認ください。
早割締切	2023年9月30日(土)
申込締切	2023年12月15日(金)
キャンセル	キャンセル規定につきましては別紙「出展規約」をご覧ください。

開催までのスケジュール ※助成金利用の場合は、ご相談ください。

No	項目	概要	日程
1	出展申込締切	早割締切 申込締切	2023年9月30日(土) 2023年12月15日(金)
2	小間位置選定	申込順に小間位置をご案内いたします。	
3	展示会出展マニュアル	PDFにて配布	2024年2月上旬~
4	出展情報登録	受付開始(出展社情報はWebサイトからのご登録) ※出展情報は展示会WEBサイトの他、一部を月刊OPTRONICS 4月号にも「特別企画」として掲載させていただきます。 ●月刊OPTRONICS 4月号への掲載締切...2024年2月下旬	2024年1月下旬~
5	各種提出書類	締切(車輛証・出展社証事前登録、電気工事、追加備品等) ※提出書類は出展マニュアルに在中	2024年3月上旬
6	案内状送付		2024年3月中旬
7	展示物搬入・装飾	※指定時間内に搬入していただきます。	2024年4月22日(月)・23日(火)
8	展示会開催初日	10:00~17:00	2024年4月24日(水)
9	展示会開催2日目	10:00~17:00	2024年4月25日(木)
10	展示会開催最終日	10:00~17:00	2024年4月26日(金)
11	展示物搬出・撤去	17:00~	2024年4月26日(金)

OPIEでは、twitterやFacebookなどを活用して来場者へ展示会情報を発信しています。



https://twitter.com/OPIE_PR



<https://www.facebook.com/opie.jp>

OPIE '24出展社限定!

若手人材の採用をサポートする

新卒オプトキャリア

無料で求人情報をご登録いただけます。

https://www.optocareer.com/reg_new/

併設セミナー／併催イベント (2023年実績)

【併設セミナー】 聴講有料

■ レーザー基礎&応用技術セミナー

LE-1コース レーザーの基礎

- ▼レーザーの基礎 ▼ファイバーレーザー事はじめ
- ▼高出力ファイバーレーザーの基礎と最新動向

LE-2コース レーザー取扱いの基礎

- ▼レーザー安全の基本 ▼レーザービームの基礎と評価
- ▼光学素子の選び方と取り扱い

LE-3コース 新時代のレーザー加工

- ▼最新のAM技術と適用のための勘所 ▼レーザークリーニングの広がり ▼レーザー微細加工の基礎と動向

LE-4コース 半導体レーザーとその応用

- ▼フォトリソ結晶レーザー ▼面発光レーザーフォトリソの進展
- ▼端面発光型半導体レーザー

LE-5コース 農業への応用が進むレーザー技術 (害虫駆除・青果物の品質評価など)

- ▼光技術を利用したスマート農業 ▼青色LEDによる害虫駆除技術など
- ー 第1次産業への応用を目指して ー ▼光技術を活用した青果物の品質評価と選果選別システム

LE-6コース パワーレーザーのエネルギー応用最前線

- ▼レーザー核融合研究の動向とエネルギー開発への展望 ー 米国NIFの成果を踏まえて ー ▼パワーレーザーによる水素製造
- ▼世界最大250ジュール超級LD励起パルスレーザーの開発と将来展望

■ レンズ設計・製造の基礎セミナー

LS-1コース 光学超入門

- ▼レンズ入門～数式を多用しない光学入門～ ▼光学機器入門

LS-2コース 光学評価入門

- ▼収差入門～収差の基本、収差図の見方を中心として～
- ▼光学系性能評価入門～MTF、分解能、波面収差～

LS-3コース 分かり易いDOE(回折光学素子)の基礎と応用

- ▼DOE(Diffractive Optical Element; 回折光学素子)入門
- ▼DOEを応用した各種光学系

LS-4コース 活躍の場を広げる微小光学素子

- ▼微小光学素子(マイクロレンズ)の作製と応用
- ▼誘電体メタサーフェス・メタレンズの設計・製造の基礎

LS-5コース 照明光学系の基礎と応用

- ▼照明で使う単位と実際の製品設計
- ▼LED光源向けの照明用レンズの紹介
- ▼LED照明光学系の光学設計

LS-6コース VR/ARの光学系と事例

- ▼メタバース時代のVR/AR用HMDの現状と未来
- ▼ホログラフィー技術を用いたコンタクトレンズディスプレイ
- ▼レーザー網膜投影技術：医療ヘルスケアからXR応用まで

■ 光源・光学素子応用技術セミナー

LO-1コース 赤外線技術の基礎

- ▼赤外線の基礎 ▼中赤外コヒーレント光源の最前線
- ▼赤外線イメージング技術の動向

LO-2コース 紫外線の基礎と応用

- ▼紫外線の基礎と応用 ▼紫外線光源と応用の最前線 ▼紫外材料

LO-3コース 赤外線の光学系の基礎

- ▼赤外線レンズ ー 設計と活用 ▼赤外透過材料 ー 焼結法を活用した赤外透過多結晶セラミックスの創製 ー ▼メタマテリアルと赤外線センサー

LO-4コース 紫外線の半導体製造技術

- ▼半導体製造のための光源① DUV加工そしてEUV光源 ▼半導体製造のための光源② EUVからBeyond EUV ▼フォトリソ検査機へのEUV光源適用技術

LO-5コース 赤外線のアプリケーション

- ▼防衛分野における赤外線技術 ▼中赤外光および深紫外光を用いたヘルスケアモニタリング ▼自動車における赤外センサー

LO-6コース ウイルス不活化への紫外線応用

- ▼人体無害ウイルス不活化230nm帯Far-UVC LEDの開発
- ▼深紫外光を用いた新型コロナウイルス不活化
- ▼有人下で使用するFar UV-Cの安全性と効果、今後の展開について

■ ポジショニング応用技術セミナー

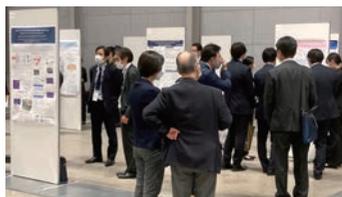
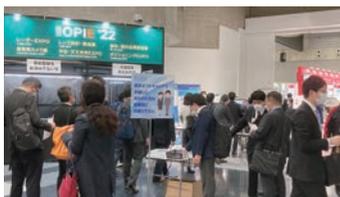
PE-1コース 応用分野から見たビエゾ技術

- ▼位置決めステージへの応用 ▼超音波振動を用いた皮膚感覚提示
- ▼ドローンに使われているセンサー

■ センサ&イメージング応用技術セミナー

SI-1コース 産業用カメラの最新動向 ー TOF・車載・物体認識AI ー

- ▼3D TOFカメラの基礎～原理と競合技術との比較、評価手法、応用範囲など ▼車載イメージングセンサーの技術動向 ▼画像認識AIの基礎と活用事例



【併催イベント】 聴講無料

■ 天田財団 第6回 レーザプロセッシング助成研究成果発表会
「高付加価値製造を実現するレーザーディティブマニファクチャリング」

■ うみつばめ衛星プロジェクト講演会
「ハイパーおよび多波長リモセン衛星「うみつばめ」、技術と科学、サービス事業」

■ 光通信・要素技術&応用EXPOオープンセミナー
「NTTによるIOWN構想と光技術の開発動向」

■ 光産業技術振興協会
2023年度 光技術動向・光産業動向セミナー
※賛助会員企業は無料

■ オープンセミナー
「NICT(情報通信研究機構)の研究者が語る開発動向」

■ 光通信・要素技術&応用EXPOオープンセミナー
「日本国際賞受賞記念講演及び、光通信・情報処理に向けたシリコンフォトニクス」

■ 第6回 TACMIコンソーシアム*シンポジウム
「半導体を支えるレーザー技術」
*高効率レーザープロセッシング推進コンソーシアム

■ 応用物理学会フォトニクス分科会主催セミナー
「光技術を利用した様々なセンシング」

■ Berlin Pavilion Workshop
「Photonics and Quantum Technologies for Communication and Space Applications」

■ パワーレーザー DXシンポジウム
「多様な利用者によるパワーレーザー施設の利活用に向けて」

■ 宇宙・天文光学特別技術セミナー

■ JIAL*/出展社セミナー
*レーザー輸入振興協会

出展形態 / 料金 リーズナブルな価格でご出展いただけます。

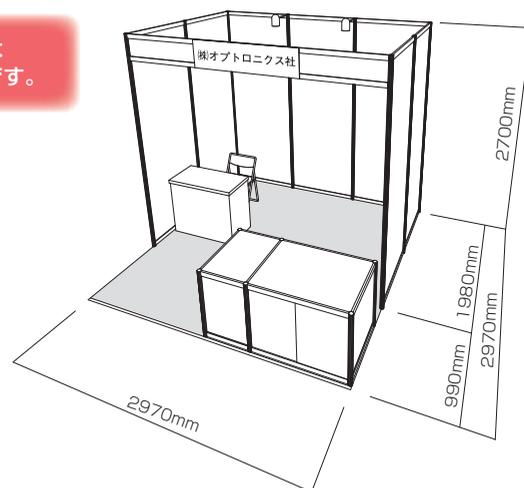
パッケージブース、スペース小間については角小間をお選びいただけます。角小間をご希望の場合は1角につき¥50,000（税込¥55,000）加算されます。角小間のご希望は複数小間でのお申込者に限ります。なお、小間レイアウトの関係でご希望に添えない場合がありますことを予めご了承下さい。

A 出展料以外の経費が抑えられるパッケージブース

(装飾済) ブース仕様：w2970 × d2970 × h2700 mm

主催/協賛団体法人会員	¥460,000 (税込¥506,000)
一般	¥480,000 (税込¥528,000)

リーズナブルな
価格設定でお薦めです。



- ・ w900 × d450 × h750 mmの受付台（白）：1台
- ・ w1485 × d700 × h750 mmの展示台（白）：1台
- ・ カーペット敷き
- ・ 社名板
- ・ パラペット
- ・ アームスポット：2灯
- ・ 100V（300W）コンセント
- ・ パイプ椅子：1脚

隣との境界は、w1980 × h2700 mmのサイドパネルで仕切られます。バックパネルはw2970 × h2700 mm。カーペットはシックな色柄で統一仕上げ。標準装備以外の設備は事前のお申込みにより、追加することができます。追加の電気工事は主催者側で行いますが、工事費は出展社のご負担になります。

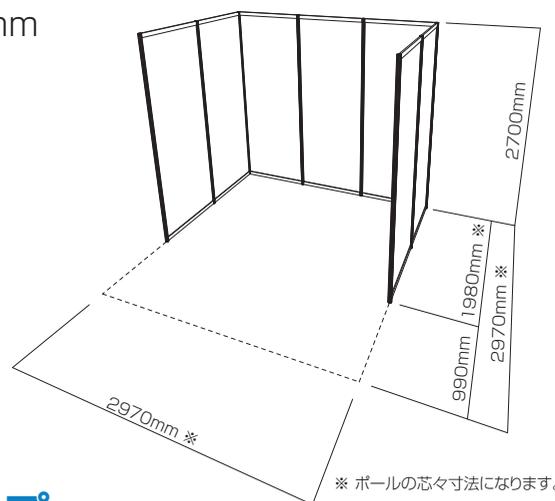
B 独自装飾が可能なスペース小間

(装飾無し) ブース仕様：w2970 × d2970 × h2700 mm

主催/協賛団体法人会員	¥380,000 (税込¥418,000)
一般	¥400,000 (税込¥440,000)

基礎壁以外のカーペット、展示台などの備品及び電気設備は一切ありません。事務局にてご用意する基礎壁（バックパネル、側壁）はシステムパネルとなります。装飾有効寸法は<w2930mm × d2950mm × h2700mm>となります。なお、独立小間の場合は基礎壁は設置されません。装飾有効寸法は<w2970mm × d2970mm × h2700mm>となります。

※装飾デザインもご相談に応じます。
お気軽にご連絡ください。



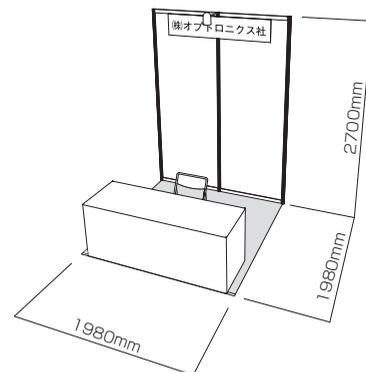
C 低コストでシンプルなテーブルトップ

(装飾済) ブース仕様：w1980 × d1980 × h2700 mm

主催/協賛団体法人会員	¥240,000 (税込¥264,000)
一般	¥260,000 (税込¥286,000)

- ・ テーブル（w1800 × d600 × h700 mm、白布仕上）：1台
- ・ 社名板
- ・ アームスポット：1灯
- ・ 100V（200W）コンセント
- ・ パイプ椅子1脚
- ・ カーペット敷き

上記標準装備以外の設備は事前のお申込みにより、追加することができます。追加の電気工事は主催者側で行いますが、工事費は出展社のご負担になります。



出展申込書

早割締切

2023年9月30日(土)

申込締切

2023年12月15日(金)

※但し、期日前でも出展スペースが無くなり次第締切らせていただきます。

別紙の「出展規約」(<https://www.opie.jp/rule.pdf>) をお読みの上、申込み下さい。本申込書をいただいた時点で、「出展規約」に同意したものとみなします。

1 出展される展示会をお選び下さい。特設ゾーンでの出展をご希望の場合、ゾーンにチェックを付けてください。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> レーザーEXPO
・パワーレーザーフォーラムゾーン
・レーザー照明・ディスプレイ/
光無線給電ゾーン | <input type="checkbox"/> レンズ設計・製造展
<input type="checkbox"/> ポジショニングEXPO | <input type="checkbox"/> 宇宙・天文光学EXPO
<input type="checkbox"/> 光と画像のセンサ&
イメージングEXPO | <input type="checkbox"/> 光源・光学素子EXPO
<input type="checkbox"/> 光通信・要素技術&
応用EXPO |
|--|--|--|--|

2 小間タイプをお選びの上、出展小間数および合計料金をご記入下さい。

出展料	※パッケージブース、スペース小間については角小間をお選びいただけます。ご希望の場合は角小間欄の□にチェックして下さい。1角につき¥50,000(税込¥55,000)加算されます。		申込小間数	角小間
A パッケージブース [※] (装飾済)	主催/協賛団体法人会員	¥460,000(税込¥506,000)	小間	<input type="checkbox"/>
	一般	¥480,000(税込¥528,000)	小間	<input type="checkbox"/>
B スペース小間 [※] (装飾なし)	主催/協賛団体法人会員	¥380,000(税込¥418,000)	小間	<input type="checkbox"/>
	一般	¥400,000(税込¥440,000)	小間	<input type="checkbox"/>
角小間料金 ¥50,000(税込¥55,000) / 1角 ※角小間のご希望は複数小間でのお申込者に限ります。なお、小間レイアウトの関係でご希望に添えない場合があります。ご了承ください。				
C テーブルトップ(装飾済)	主催/協賛団体法人会員	¥240,000(税込¥264,000)	小間	—
	一般	¥260,000(税込¥286,000)	小間	—
出展料金合計(税込) ¥			※2023年9月30日(土)までにお申込みをいただいた場合は、上記金額より5%割引させていただきます。	

3 出展予定製品をご記入下さい。

4 出展申込者/出展担当者 ※出展申込者と同じ場合はご記入は不要です。

申込日 年 月 日

会社/ 団体名	和文				
	英文				
住所	〒				
出展 申込者	氏名	印	部署名		
	TEL	FAX	E-mail		
出展* 担当者	氏名	部署名			
	TEL	FAX	E-mail		

・消費税は、イベント開催時の税率が適用されます。お申込みが税率変更前の場合、差額は追加請求させていただきます。
・出展お申込みをいただきましたら請求書を発行いたします。お支払い期限は、請求書の日付けの翌月末となります。

【出展申込後のキャンセル】申込後のキャンセルは原則として認められません。ただし主催者が取消事由を認めた場合は、規定の取消料をお支払いいただくことでキャンセルをすることができます。

<出展取消規定> 申込日~2023年9月30日(土) … 出展料の50%が取消料
2023年10月1日(日)以降 … 出展料の全額が取消料

その他の規定につきましては別紙「出展規約」をご確認下さい。

FAXまたはご郵送でお申込み下さい。なお、郵送される場合は、必ず控えを保存して下さい。

FAX申込先 : 03-5229-7253